

平成 25 年度第 2 回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開会宣言 平成 25 年 8 月 19 日（月） 午後 1 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 2 階 201 会議室
- 3 出席者 雲尾委員長、村田委員、渡邊委員
- 4 説明のための出席者
長谷川教育長、池浦教育部長、大平教育総務課長、高橋小中一貫教育推進課長、前澤教育センター長、金子生涯学習課長、坂内子育て支援課長補佐、清水子育て支援課長補佐、丸山教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 0 人
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 教育に関する事務の点検及び評価について
 - (3) 閉会
- 7 会議の経過及び結果
 - (1) 開会
(長谷川教育長)

皆さん改めて、ごめんください。連日大変暑い日が続いているわけでありまして、三条市もここ 3、4 日、35 度を越える猛暑になってございます。そういった中、またお盆をあけられたところで大変お忙しいところ、第 2 回目の三条市教育事務点検評価委員会を開催いただきまして本当にありがとうございます。

前回開催させていただきました際に、委員の皆様方からいろいろと御指摘、御指導いただいたところでございますが、本日はそういった対応につきまして、また修正を加えた中でいろいろと御意見をいただいて、来たる三条市議会に法令に基づいて報告をし、公表してまいりたいというふうに考えているところでございます。本日また暑い中でありましてけれども、いろいろと御指導いただいて報告書にまとめ上げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございます。
 - (2) 教育に関する事務の点検及び評価報告書について
「幼児教育・学校教育の充実」
 - 1 - (1) 小中一貫教育の推進について
前澤教育センター長から説明あり
(雲尾委員長)

まず、1、2 ページ、修正よろしいでしょうか。

(村田委員)

報告書のほうを言っていいですか。

(雲尾委員長)

ええ。内容は同じですので。

(村田委員)

報告書のほうの2ページですが、目的のところの文末の表現ですが、これ以降のところではみんな何々すること、という結びになっています、目的の表現がね。ここは「伸長させる」というふうな表現になっているのですけれども、統一したほうがいいのではないのでしょうか。

(雲尾委員長)

大分変わっていますね、これだけね。シート最終版のほうだと「身に付ける」で終わっていますが、こっちだと「伸長させる」に変わっていると。

(村田委員)

その「伸長させる」という、伸長はいいと思いますが、そのさせるっていうのが、この以降のものはみんな何とかを図ることとか、育成することとか、そういう風になっているので。

(雲尾委員長)

報告書のほうの、案の修正をお願いします。

(前澤教育センター長)

今御指摘をいただきましたので、以降の文言と調整を図って、修正を図りたいと思います。

(雲尾委員長)

報告書案のほうの「伸長させる」のところを変えるということですね。

(村田委員)

報告書の主な事務事業の②のところ、3行1文ですごく長いですよ。途中で一回切っても意味はそう違わなくなるのではないかと思います。私、真ん中の「全中学校区で共有化を図り、モデル中学校区で」になっていますが、「共有化を図る」で切って2文にしたほうが読みやすく、わかりやすいのではないかなと思いました。いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

主な事務事業②ですね。「共有化を図る。合わせて、」ですかね。というふうに、じゃあ、シート最終版もそれで合わせて直すということでもよろしいですね。

(村田委員)

そうですね。長いなと思いましたので。

(雲尾委員長)

シート最終版、報告書案ともに「共有化を図る。合わせて、モデル中学校区での」というふうに修正をするということをお願いいたします。

(前澤教育センター長)

はい、わかりました。

(雲尾委員長)

私が全体的にお願いしたいのですが、どこが原因とかわからなかったのですが、見ているシートがどの辺に位置付いているかわからないので、後で1-(1)とか、2-(1)とか全部入れていただいたのですね。そういう意味で、この1ページの1番のところに、1-(1)ですかね、次、1-(2)というのを入れていただくと見やすいかなと思うので、お願いしたいと思います。1-(1)、1-(2)、多分、あと1-(6)が抜けていますかね。と思うので、その、それぞれの該当ページのところで。

(大平教育総務課長)

それは評価シートのほうですね。

(雲尾委員長)

シートのほうです。入れていただければよろしいかと思います。

1-(2) 学力向上研修会や中学校区を中心として公開授業等の実施について
高橋小中一貫教育推進課長から説明あり

(雲尾委員長)

報告書案のほうで写真、この第一中学校区全体研修会の写真が悪いとは言わないですが、余り効果的でないと言いますか。7人の先生方がいて、教室でやっているだけなので。もう少し大きなものか、あるいはここですと、要するに、シートですと第一指標と、第二指標があがってきているわけですが、こっちは出てこないの。例えばNRTのグラフを載せたりとかできませんかね。そういったものがあつたほうが、この場面だとふさわしいかなと思うのですが。

(高橋小中一貫教育推進課長)

NRTのグラフについては文章表現でしか公表していないということもありますので、もっといい写真という形で考えさせてもらいたいと思います。

(渡邊委員)

公開授業の写真なんかも、やっぱり難しいですかね。

(高橋小中一貫教育推進課長)

なるべく個人が特定されないような全体的なものが可能な限りあればいいかと思うのですが、そのようなことを配慮させてもらって、載せさせていただきたいのですが。

(雲尾委員長)

もう少し小さいサイズにして幾つか載せていただくというのも一つの方法かと思います。これだけ大きいとちょっと、他が目立ちます。お願いします。

1－(3) 刃物（ものづくり）教育、科学教育の充実について

高橋小中一貫教育推進課長から説明あり

(村田委員)

報告書の評価の6ページの評価のところの1行目に「実施後のアンケートにおける教職員の評価は」ってありますよね。その同じものが、指標の、シートのほうの評価にもありますが、これ、教職員のその評価が何に対するどういう評価があるかっていうふうな書き込みがあったほうがいいのではないかなと思いますけども。わかるといえばわかりますけれども、4.8というその5段階の評価が。

(雲尾委員長)

子どものほうが「とても楽しかった」「楽しかった」という文言があるからわかるけれども、教職員のほうは何の評価かわからないということですね。

(村田委員)

そうです。

(高橋小中一貫教育推進課長)

満足度を後から入れればよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

アンケートの質問項目が何だったかですね。

(高橋小中一貫教育推進課長)

そのように直させていただきます。

(雲尾委員長)

アンケートの質問項目を確認していただいて、それがわかるように挿入していただくということで。

(村田委員)

今後の方針のところの4行、最初から4行1文ですよ。ここもすごく長い文だなと思うのですよ。真ん中でどこか区切るとか、もう少し短文にしてもらったほうが読んでわかりがいいのではないかなと思います。

それから、1行目の「刃物（ものづくり）教育では、小中一貫教育のカリキュラムに位置づけた取組を行い」とありますけれども、これ以降のところでのその取り組みのことが書いてあるので、ここの、今申し上げたこの文っているのかなと思いました。これ、取ったら文も短くなるし、取っても大差ないように思いますけども。この1文、やっぱりいりますでしょうか。

(高橋小中一貫教育推進課長)

「児童生徒が、三条金物や刃物の歴史を学んだり、ものづくりを体験したりする活動」は、そのものが小中一貫教育の流れだということの村田委員の御指摘は、私もああそうだなというふうに思いました。ここは、小中一貫教育のカリキュラムに基づきとかにさせていただいて、ここは科学、ものづくり教育においても、小中一貫教育を

基本に据えているということを出してもいるので、「に基づき」というような表現にさせていただけたいと思います。

(村田委員)

小中一貫教育のカリキュラムが、これをやっぱり出す、出したいわけですよね。そうですね、わかりました。

(高橋小中一貫教育推進課長)

そのとおりです。いわゆる刃物（ものづくり）教育、科学教育においても、小中一貫教育を柱に据えた中に位置づけているという意味で、ちょっと丁寧に書いてあるなとは思いますが、できればここに小中一貫教育という言葉を残させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

今、「基づき」にして少し文章が短くなるので、それでよろしいですか。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

ここは、主な事務事業が刃物（ものづくり）教育推進事業と、科学教育推進事業となっていて、先ほど修正で、評価のところの2つ目の科学教育のところに科学教育推進事業に変えたわけですよね。しかしそうすると、その前の刃物（ものづくり）教育のどの推進事業が必要だったり、今後の方針のところにも全て推進事業が必要だったりということになりませんか。

(高橋小中一貫教育推進課長)

おっしゃるとおりだと思います。

(雲尾委員長)

ほかの3か所も全部推進事業を入れるということでいいですかね。

修正意見の②の最後に書いてある2段落目の文章、科学教育推進事業と同じように、ほかのところもその前の段階のところ、それから今後の方針のところのこの2つの段落で、文章に推進事業を入れるという修正を行います。

1－（4）食育・体力づくりの充実について

高橋小中一貫推進課長から説明あり

(村田委員)

「1学校1取組」というのは、今年改めて出てきた名称じゃないと思うのですよね。大分前からこういう言葉ってあったと思いますので、この内容の表現のところ、最後のところに「1学校1取組という名称を使い、各学校で計画的に行うことで」というあるわけですが、「1学校1取組を行い」とか、「1学校1取組を推進し」というふうに、いちいち「名称を使い」なんてこと。同じといえば同じですけども、「名称

を使い」という言葉は、何か新しい取組をまた新たにやってみたいな感じで捉えられますし、もっと簡単に書いてもいいのではないかなと思います。

(高橋小中一貫教育推進課長)

そうですね。1学校1取組は新しい取組ではないですが、学校では大事にしている、この1学校1取組のおかげでよくなっている部分もあると思いますので、表現を少し変えさせていただいて、1学校1取組という形は残させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

「という名称を」を使わず「1学級1取組を行い」だけでも意味はわかりますので。

(村田委員)

写真が入って、ああそうかっていうふうに思いますけども、その写真が子どものおにぎり、左側の子は何かキャラクターみたいなのがしているのが工夫してあるお弁当だということを取り上げられているのだろうと思いますけど、この文言の説明のときに、この子はおにぎりだとか、この子は何だ、そういう、どういってお弁当だとか、ちょっとした文言のつけ加えができればなと思いました。入れることができれば入れたらいいのではないかなと思います。

(雲尾委員長)

あと、一つあいていけば、ここに体力づくりの写真があるとバランスいいかなと思うのですが。

(高橋小中一貫教育推進課長)

可能な限り入れさせてもらいたいと思います。

(雲尾委員長)

あと、確認ですけど、体力の種目名って球技でよかったのですか。ボール投げではなくて、球技。体力テストの種目名。シートの8ページの第2指標には球技と書かれているのですが。

(高橋小中一貫教育推進課長)

すみません、今ちょっと手もとに資料がないので、調べさせてもらって直させていただきます。

(雲尾委員長)

お願いします。

1－(5) 適応教室指導事業の充実について

高橋小中一貫推進課長から説明あり

(雲尾委員長)

報告書案の写真はわかりますけど、生活目標、これはどこのものなのですか。

(高橋小中一貫教育推進課長)

確認して入れさせてもらおうと思います。

1－(6) 特別支援教室のサポート、相談等の充実について

高橋小中一貫推進課長から説明あり

(村田委員)

シートのほうの、第1指標の評価のところ、2行目に「同数の36人の配置を継続しているが」と書くと、その次、そうしているけれども、何かそれでは満足できないような何かが出てきているのだというふうな呼応をすぐ想像するのですが、しているが、ちゃんと推進に寄与しているのだということが出てきているので、「継続しているが」じゃなくて「継続しており」とか、何か反対の、何々するが、何々という反対のことが出てくるのが文の呼応のような気がします。

(雲尾委員長)

逆説の「が」の場合と、話題転換の「が」という。この場合は話題転換の「が」ということでしょうかけれども、違和感があるところならば「継続しており」としたほうが、誤解は入りませんか。

(村田委員)

ちょっと違和感がありました。

(高橋小中一貫教育推進課長)

そこは文章というか、説明が修正を求められた部分でしたので、今、村田委員がおっしゃったように「継続しており」のほうがわかりやすいと思います。息継ぎの「が」になっているかなと思います。

(雲尾委員長)

では、「配置を継続しており」に修正するというので。第1指標の評価ですね。

「学校と家庭・地域との連携の推進」

2－(1) 放課後子ども教室について

坂内子育て支援課長補佐から説明あり

(雲尾委員長)

下半分ないとさみしいので、写真がもう1枚ほどあるといいかなと思います。

(坂内子育て支援課長補佐)

わかりました。

2－(2) 家庭教育講座について

清水子育て支援課長補佐から説明あり

(雲尾委員長)

シートの、満点は何ポイントなのかわからないということで、満点は5ポイント、最低は0ポイントとして記載と、この対応については書いてありますけれども、それは

成果指標のほうに書かれてないのでわからないというのと。5段階でなぜ0から5ポイントまでなのかが私わからないんですけど。

(清水子育て支援課長補佐)

すみません、6段階でございます。0、1、2、3、4、5。6段階でございますので、6段階というふうに直させていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

文章の中も6段階の評価ということですね。

(清水子育て支援課長補佐)

そうです、申しわけございません。

(雲尾委員長)

具体的に6段階は、どう6段階。

(清水子育て支援課長補佐)

以前は「とてもよかった」「よかった」「どちらともいえない」「期待したほどではない」「物足りない」「よくなかった」の6段階で行っておって、で、5段階というふうに言ったのはですね、実は「どちらともいえない」というのが点数にできなかったというところで、それで5段階ですっとやっていました。で、それを0から5まで数字を並べて、グラフにしまして、どうでしたかという、満足度をまるつけていただくという形に、ポイント化させていただいたというのがこの1文でございます。

(雲尾委員長)

満足が5ポイントで、0ポイントまでであると。

(清水子育て支援課長補佐)

はい。やや満足とか、普通、やや不満、不満、全く満足できなかったという形になるかと思います。ただ、それを言葉ではなくて数値化させていただくことで、つけやすい形になるかなというところで、昨年からさせていただいたところがございます。

(雲尾委員長)

それは、じゃあ、指標説明の140文字以内のところに加え、役に立った度合いのところとその満点が5ポイント、最低が0ポイントであることがわかるように、ここに書き加えていただいて。

(清水子育て支援課長補佐)

御指摘のとおり直させていただきます。

(雲尾委員長)

指標に出ているところは「6段階の評価」に改めてということで、書き直していただくということをお願いします。

(雲尾委員長)

2-(2)について、他いかがでございましょうか。

(村田委員)

報告書の今後の方針のところですけど、「子どものライフステージに応じて実施してきたそれぞれの家庭教育講座等を、マタニティ期から思春期までの子どもの成長に合わせて、各時期で学ぶべき内容を再整理し」という。ここって、「子どものライフステージ」と「マタニティ期から思春期までの子どもの成長に合わせて各時期」これ、同じことを表現されているのではないですよ。子どものライフステージが、ライフステージをもっと広げて、もっと細かく捉えたということを意図しているのですか。

(雲尾委員長)

細かくかどうかはわかりません。広げたのは確かです。

(村田委員)

広げただけのことですね。

(雲尾委員長)

広げたのは確かですが、細かくなったかどうかはわかりませんが。それはどうでしょう。

(清水子育て支援課長補佐)

今ほどの話で、子どもという形で、子どものみを対象にさせていただいておりましたけれども、マタニティ期からということで、今ほど委員長がおっしゃられたとおり、広げて書かせていただいたというところがございます。

2- (3) 子どもと親の読書活動について

金子生涯学習課長から説明あり

(雲尾委員長)

報告書案の、これは17、18ページにページをまたがるわけですけども、このブックスタートの様子の写真に子どもが写っていないので様子がわからないのと、ちょっと雰囲気的に暗いなと思います。下の部分もあいているので、例えば、配布している絵本3種類を並べたりとかそういうような形で入れていただいて、上の写真はほかになれば仕方ないと思いますが。

(金子生涯学習課長)

御指摘ももっともでございますので、ちょっと工夫させてもらいたいと思います。

(村田委員)

今後の方針のところの、最後の段落で「絵本については」って出だしがそうなので絵本のことを言っているのだなというのがわかりますので、2行目とか、4行目とかに「絵本の紹介」とか、「絵本の魅力ある紹介」とか、すごく丁寧だけどいいので、「絵本の」というのを取ってもいいのではないかなと思いますけど、どうですか。

(雲尾委員長)

最後の段落ですね。「絵本については」で始まっている段落なので、2行目の「絵本

の紹介」の、「絵本の」とか、3行目の1番後ろの「絵本の」のところ、この2つは取ってもいいのではないかということですよ。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

シートでも同じですよ。絵本については。

(村田委員)

考えていただくだけでいいです。あんまり、絶対取れとか、そういうことではありません。

もう一つこのところで、今後の方針なんかでは「案内の送付」っていうのは、送付の付は、この付けるっていうのですよね。評価のところでは「配布した」ってのが、布の書いてあるわけですけども。この配布とか、送付のフの使い方ですけど。これ、どんなふうにかえたらいいのかなって思いまして。付けるという字、書かなくてもいいのかなって。その人にやるわけで、不特定多数の人に広くやっているわけじゃないので、付というフは、これでいいのかなと思ったのですけど。

(金子生涯学習課長)

送付の付はこの送る、付ける。

(村田委員)

ですよ。私はこれはこれでいいと思います。配布のほうは、それで。

(金子生涯学習課長)

配布は布のほうじゃないでしょうか。

(池浦教育部長、)

いや、付ける。限定している方に配るのは付ける。

(雲尾委員長)

従来、事業ですとこの布を使ってきたということですね。

(金子生涯学習課長)

そうですね。

(雲尾委員長)

じゃあ今年度はこのままということにして、漢字の意味を別途確認していただいて、今後どう変えるかということで対応していただくということではいかがでしょうか。

(村田委員)

はい、わかりました。

2－(4) スクールアシスタント制度の充実について

高橋小中一貫教育推進課長から説明あり

(村田委員)

評価のところですけど、「今後は必ず参加者のアンケートを取り、満足度把握や希望する研修テーマなど」ここのところ、「満足度のアンケートを取り、満足度や希望する研修テーマを把握し」とか、研修テーマもいろいろとアンケートに書いてもらって、それを捉えて研修会に役立てるっていうことでしょうかから、満足度だけじゃなくて、研修テーマのところ把握が及ぶように、後ろのほうに把握を持ってきたらいいのではないかと思いますけど、どうですか。

(雲尾委員長)

「満足度や希望する研修テーマなどを把握し」ってことですかね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

「満足度や希望する研修テーマなどを把握し、今後の研修会等に役立てる」というふうに再度修正をはかってはどうかということですね。

(村田委員)

はい。

(高橋小中一貫教育推進課長)

御指摘のように直させていただきたいと思います。

2 - (5) 地域・保護者・教職員が学校教育を共に考える参画型システムの構築について

高橋小中一貫教育推進課長から説明あり

質疑に入るが、質疑なく終結

「生涯学習の充実」

3 - (1) 生涯各期における学習機会の充実について

金子生涯学習課長から説明あり

(村田委員)

報告書の24ページの文のところですが、スマートウェルネス三条っていうのは、これはカギしてありますよね。この次のところ出てくるスマートウェルネス三条ではカギがないもありますけど、意図してカギつけると、こういう事業だということカギをおつけになるのであれば、ほかの記載でもつくのではないかなと思ったりしているのですが、事業ならば、カギをやはりどこもつけたほうがいいのではないかなと思うのですよ。

(雲尾委員長)

ただ、初出はここですので、この下、23ページの下あたりにスマートウェルネス三条の説明でも入れればいいのかもしれないですけども、どうですか。

(金子生涯学習課長)

カギをつけることで統一させてもらったほうがよろしいでしょうか。8ページ以降。

(雲尾委員長)

ただ、次の3-(2)だと、事業名自体がスマートウェルネス事業になっていますよね。

(金子生涯学習課長)

そうですね。

(村田委員)

事業名が出てくるから、ここではカギはいらないわけですね。ないほうがいいわけですね。

(金子生涯学習課長)

いらないほうがよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

ないほうがいいのか。

(村田委員)

そうですね。今後の方針のところにも出てくるのですが、これは、でも。23ページにカギつけていることも、こっちの25ページのカギにもきちやいます。

(金子生涯学習課長)

24ページも同じですかね。

(雲尾委員長)

スマートウェルネス三条って、簡単に説明できますか。

(金子生涯学習課長)

説明をつけて、この23ページを。

(雲尾委員長)

ここが多分初出なので、この報告書の中では、23ページの下にスマートウェルネス三条とは説明を入れてもらえれば、もう全部カギなしでそのままいったほうがいかなと思いますけども。

(金子生涯学習課長)

そういうふうに取り扱わせてもらいたいと思います。

(雲尾委員長)

よろしくお願ひします。写真は少し小さくても影響はないと思います。3-(1)、よろしいでしょうか。

(村田委員)

23ページの上のほうの4行の中の、2行目のところ「生きがづくり仲間づくりを通じて「スマートウェルネス三条」を目指す、心とからだの健康や元気な高齢者の推進を図っていくための事業」ってありますよね。この「生きがづくりや仲間づくり

を通じて、心とからだの健康や、元気な高齢者の推進を図る」ですよね。だからこの、ちょっとその前から読みますと、「また、今後も市民の生涯に渡る自主的な学習活動への支援に努め、「スマートウェルネス三条」が目指す生きがいつくりや仲間づくりを通じて、とからだの健康や、元気な高齢者の推進を図っていくための事業」と、この「生きがいつくりや仲間づくりを通じて」っていうのを、「心とからだの健康」の前に持ってきたほうがわかりやすすくないでしょうか。ここも文が4行に渡ってすごく長いですよ。それで、長いけれども、そういう文言ちょっと配置換えしたら、よりわかりやすくなるかと思いましたけども、いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

いろんな言葉が入っていますよね。どれがどう関わるかわかりにくいですね。

「市民満足度の高い事業の推進に努める」ということが1つ入っていて、「生きがいつくりや」これも「生きがいつくりや、」ですかね。あるいは「生きがいつくりや仲間づくり」

(金子生涯学習課長)

「や」でしょうか。

(雲尾委員長)

「心とからだの健康や、元気な高齢者の推進」。元気な高齢者の推進、何を推進するのか。何か、よく読むと確かにわかりにくい。推進するものがわからない。

(金子生涯学習課長)

「スマートウェルネス三条」は、どっちかという心とからだの健康を目指すことです。

(村田委員)

この、上のほうの「生きがいつくりや仲間づくりを通じて」というのを、「心とからだの健康」の前に移せば、「元気な高齢者の推進」というどこにかかるのかわからない、これを削除しても「スマートウェルネス三条」をちゃんとあらわしていると思います。だから、「スマートウェルネス三条が目指す生きがいつくりや仲間づくりを通じて、心とからだの健康を図っていくための事業」としたらどうでしょうか。

(金子生涯学習課長)

「生きがいつくりや仲間づくりを通じて」を削除ということですか。

(村田委員)

いえ、その下へおろすということです。

(雲尾委員長)

「スマートウェルネス三条が目指す」と入れかえるということですね。

(村田委員)

はい。

(金子生涯学習課長)

「スマートウェルネス三条」が目指すのは、市民の心とからだの健康づくりです。
(村田委員)

それをどうやってやるかっていうと、スマートウェルネス三条というのは、生きがいづくりや、仲間づくりを通してそれをやるのだということですよ。

(雲尾委員長)

先になります、報告書案の24ページだと「心とからだの健康づくり、元気な高齢者を目指した」という部分なのですよ。

(村田委員)

そうですね。

(雲尾委員長)

「スマートウェルネス三条は、心とからだの健康づくりを推進する」と。心とからだの健康づくりを推進する。体って、漢字ですか、ひらがなですか。

(村田委員)

ずっとひらがなをつかってきていますね、ここは。

(雲尾委員長)

24ページは漢字ですが。

(村田委員)

評価の中では「心とからだ」が、ひらがなで「からだ」、使っていますね。

(雲尾委員長)

主な事務事業の中では漢字ですが、これはひらがなになるところで。

(金子生涯学習課長)

「心とからだ」、スマートウェルネスは三条市全体で推進しているわけですが、心とからだをどういうふうに表示しているかっていうと、それは確認させてもらって統一させてもらいたいと思います。漢字か、ひらがなか。

(雲尾委員長)

この3- (1) に、そもそも「スマートウェルネス三条を目指す」と入れないといけないのかなんですよ。入れないといかないかという。

(渡邊委員)

でも、入れないで次の3- (2) でも事業っていうのが出てきて、そちらで説明があったほうがいいような気が。

(村田委員)

24ページの今の問題になっているところ全部除いて、スマートウェルネス三条のところを除くと、すごく文も短くなっていますよね。入れなくてもいいのかもしれませんが。その次のページで現代的課題として捉えていますからね。

(金子生涯学習課長)

そうしますと、「生きがいづくりや仲間づくりを通じて、心とからだの健康」と、こ

ういうふうにすると。そのままいかせてもらったほうがいいですか。

(雲尾委員長)

はい。そのままですけど、ただ、元気な高齢者の推進がわからないので。後ろの言葉なら、そのまま「元気な高齢者を目指す事業」ですかね。「生きがいつくりや仲間づくりを通じて、心とからだの健康づくりや元気な高齢者を目指す事業」ですかね。ということで、報告書案の23ページの2行目、「生きがいつくりや仲間づくりを通じて、心とからだの健康づくりや元気な高齢者を目指す事業、」というふうに変えて、当然シートの方もそれに合わせて今後の方針を変えるということによろしいですかね。

3- (2) 現代的課題などの学習について

金子生涯学習課長から説明あり

(村田委員)

25ページ、今後の方針のところですけども、2行目から始まる1文ですが、「国際理解の重要性を学ぶための講座」って、講座のことをずっと述べていきますよね。そう思って見ると、「住環境の安全や環境問題」、そして「心とからだの健康づくりをさらに推進すると共に」ってあるので、「国際理解の重要性を学ぶための講座」っていったら、この次も「住環境の安全や環境問題の講座」とか。そして「心とからだの健康づくり教室」とか。講座を、そういう事業をさらに推進すると共に学習機会を提供していくってことなのですから、そういう機会、学習の機会、事業そのものを推進するというような書き方が、統一したほうがいいのではないかなと思ったのですけど。

(金子生涯学習課長)

そうしますと、2行目から読みますと「グローバルな視点からの国際理解の重要性を学ぶための講座、住環境の安全や環境問題などの講座」あるいは、「スマートウェルネス三条がめざす心とからだの健康づくりの講座等をさらに推進するとともに」ということによろしいでしょうか。

(村田委員)

そのほうがいいのではないかなと、私は思いますけども。

(雲尾委員長)

対応的にはそうなりますよね。ただしつくくなりますが。講座、講座って。

(村田委員)

しつこいですね。何とかの講座、何とかの講座。確かに。

(金子生涯学習課長)

最後に講座を持ってくればいいでしょうかね。「グローバルな視点からの国際理解の重要性、住環境の安全や環境問題、スマートウェルネス三条がめざす心とからだの健康づくりなどの講座」というふうにとどめましょうか。

(雲尾委員長)

これは多分、主な事務事業の順番に3つ並べたらこうなったのですよね、きつとね。それで、最初にだけ講座をつけてしまったわけで。

(村田委員)

講座、講座っていうとしつこいから、前の24ページの表記みたいに、「学ぶための講座」、その次の「住環境の安全な環境問題に関する学習」とか、そして「健康づくり教室」とか、みんな「講座」を1つずつ表現変えていったらどうでしょうか。

(雲尾委員長)

それに直すに当たって、ちょっと話を戻しますが、主な事務事業2番目のところ、環境教育のところだったのですが、環境に関する教育を学習に直してもらっているわけですが、学習を実施するだとやっぱり変ですよ。学習会を実施するとか、学習機会を提供するならわかりますけども。

(金子生涯学習課長)

②の環境教育の最後に、環境に関する学習会を実施する。

(雲尾委員長)

学習会を実施するか、学習機会を提供するならわかります。学習会を実施するでいいですかね。

(金子生涯学習課長)

はい。

(雲尾委員長)

そうすれば、村田委員のおっしゃるように、全部語尾を変えるという方法もとれますけれども。そうすれば、その25ページのもとの文を残せば、「グローバルな視点からの国際理解の重要性を学ぶための講座、住環境の安全や環境問題の学習会、スマートウェルネス三条がめざす心とからだの健康づくり教室などをさらに推進するとともに、必要とされる現代的課題のテーマを捉え」ということで修正する部分が少なく済むといただけますか。ですからそのまま、「環境問題の学習会」、「健康づくり教室など」というふうに一言ずつ入れてもらってよろしいですかね。

3- (3) 学習成果を活かす仕組みづくりについて

金子生涯学習課長から説明あり

(雲尾委員長)

先ほどの3- (2)でも言い忘れていましたが、ここも共通ですが、白紙があいているので。写真ばかりだと同じようになってつまらないので、つまらないといっても申しわけないですが。例えば、こちら3- (2)や、3- (3)でしたら、講座のポスターとか、そういったようなものでも。チラシとかいうようなものでもいいと思いますので、そういったようなものを挙げていただけると、ああ、あの見かけたチラシはこれだったのねみたいな感じになるかなと思いますので、この辺のものを挙げて

いただければと思います。

(金子生涯学習課長)

わかりました。

(村田委員)

26 ページのところで、外部の方からの主な意見等と書いてありますよね。そこで、「各種受講者が、受講の成果を発表できる機会を設けていきたい」というふうに書いてあって、そして27 ページの方針に、最後ですけど「学習成果を活用できる機会を設ける」これ、同じことを言っているのでしょうか。そうならば、この「活用できる」を「発表できる」と書いたほうがいいのかなど。

(雲尾委員長)

外部の意見をどっかに書くかですよね。今後の方針の後にこれが来てれば、外部の方からの御意見等が来てれば話の筋はわかるわけですけど。この評価の後に入れて、この意見を入れた上で、今後の方針を立てるとなるとちょっと順番はおかしな感じにはなりますよね。

(村田委員)

ならば、ここは活用できる、でいいですかね。成果を発表するってことだったら、その成果を活用するっていうことはちょっと方向が違うのではないかなと思って。どっちも大事なことだとは思いますが。

(雲尾委員長)

評価の説明に書いたのは「学習成果を活かす仕組みづくりとして、市民総合大学や、参加者による教室運営、学習成果を発表できる機会や学習成果を活かされていく取組の推進を図った」というのがあるわけですよね。

それで、「市としては、どのように支援していくのか」「受講の成果を発表できる機会を設けていきたい」。やっちはいるけれど、さらにもう一度聞いているということですかね。

(金子生涯学習課長)

学習成果を活かすというのが2つあると思うのですね、この書き方で言わせてもらおうと。自分たちが学んだ、あるいは絵画だったら絵画を習得したというのを誰かに展覧会で見てもらうということが1つの学びの成果を発表するということでこれは1つあるし、自分たちの技術等を、立場を変えて、パソコンだったらパソコンの操作を教えるというように、修得した技術をほかの方に指導してやるという、それがまた活用というような言い方にしているようですね。その2つを言っているのですが、外部からの主な意見等の対応のほうでは、どっちかというとその発表機会というところだけにいくかなということですね。

(村田委員)

その2つの方向、2つのことをこの27 ページの1 番の後段でも、2つを意図するこ

とを書いていったら、今、おっしゃったようなことを書いていかれたらどうでしょうか。

(金子生涯学習課長)

対応状況のほうですね。

(村田委員)

今後の方針。今後の方針の中で最後ってというのは、受講生が学習成果を活用できる機会を設けるってありますけれども、今、課長さんがおっしゃったみたいに学習成果を発表して、そういう機会の支援と、それからその学習成果を活かしていく、自らが活用するのはもちろんだけど、ほかの人に対してもそれを還元していくような、そういう機会をつくっていくってことをここでおっしゃりたいわけですね。

(雲尾委員長)

外部の方からの主な意見等をまず、市としては何を支援していくのかっていう形ではなくって、学習成果を活かす仕組みづくりについて、市としてもっと積極的に支援してほしいというような意見に変えてもらえれば。で、市の対応状況で、今、御説明になった詳しい内容を書いていただくということで、そのことが今後の方針の最後の一文をそのまま指すという理解になるのではないかなと思いますけど、いかかでしょうか。

(金子生涯学習課長)

では、その外部からの主な意見等が、学習成果を活かす仕組みづくりについて市として積極的に支援していただきたいというような文言でよろしいということですか。

(雲尾委員長)

そうですね。で、受講の成果を発表できる機会だけでなく、先ほど御説明にあったものを書いていただいて。それがそのまま今後の方針のところの、その説明であるというふうに読めるようになるのではないかなと思いますけど、よろしいでしょうか。

(金子生涯学習課長)

はい。

「文化遺産の保存と活用」

4－(1) 文化遺産の詳細調査・文化財指定について

金子生涯学習課長から説明あり

(雲尾委員長)

4－(1) でございますが、今御説明になった第一指標ですと、既に23年度も目標値を超えていますので、そのままにしてもらってもいいかということですね。指標説明が、指定文化財登録文化財の件数ではあるのですが、その目標値設定が、平成22年度実績48をもとに10件増の58件を平成26年度の目標においたのが、当初低すぎたということでしょうかね、結果的には。指標では、しかし目標年度のその数値は変え

ないということですから、このままでいいのではないかと思います。そのほかよろしいでしょうか。

4－（２）埋蔵文化財の調査・保護について

金子生涯学習課長から説明あり

質疑に入るが、質疑なく終結

4－（３）文化遺産の公開・活用について

金子生涯学習課長から説明あり

（雲尾委員長）

報告書案の 33 ページに、外部の方からの意見等ということで、「関係部局のイベント等とどのように連携しているのか」がありますけど、ここで「保内公園まつりなどで勾玉づくりなどを行い、地域の人たちに文化財の大切さを啓発している」って、この保内公園まつりってというのはどちらの主催ですか。関係部局といったときに、どの部局かはこれだとわからないので。保内公園祭り（どこそこ主催）とか、そんなことを書いてもらえると。

（金子生涯学習課長）

部局の名前ですか。

（雲尾委員長）

ええ。そうすると他部局がわかる。お願いします。

（金子生涯学習課長）

（建設課）とかでよろしいですか。

（雲尾委員長）

建設課だけでわかるかな。建設課所管とかですか。

（金子生涯学習課長）

建設課所管施設ということで。

（村田委員）

所管施設は、保内公園が建設課の所管の施設なのですね。祭りは建設課が主催するのですか。

（金子生涯学習課長）

みどりの相談所というところです。

（村田委員）

建設課の中の機関というか。

（金子生涯学習課長）

はい。指定管理にはなっておりますけども、市の施設ということになります。

（村田委員）

報告書の32ページの、主な事務事業のところの①と②と③の書き方を揃えたほうがいいと思います。①はあえて2行目で遺跡展示会体験座と、この表題に出しているものをまた入れて、それを共催開催するというふうに入れてありますよね。③はあえてその三条かぐら鑑賞会とか、栄神楽鑑賞会というのは省いてあるのですよね。だから、どこも共催し、開催するになっているので、何をやるかというのはもう頭のところに表題が出ているので、取って、上のほうもそれは遺跡展示会とか、講演会を除いていいと思うのですよ。③と同じ書き方にして。そして②のところは、これはどこも共催してないけど、生涯学習課でおやりになっているのですよね。ですので、これも「だれでもわかりやすく遺跡に親しむことができる」ということを目当てにして開催していると、何をという、この遺跡出前体験講座というのを取る方向の文章にしたら、全部同じ書きをしていることになって、いいのではないかと思いますけど。

(金子生涯学習課長)

そうすると、①はその遺跡展示会、講演会を削除。②については「当時の人々の暮らしを体験し、だれでもわかりやすく遺跡に親しむことができるよう開催する」でしょうね。3はそのままということよろしゅうございますか。

(村田委員)

それでいいのではないかと思いますけど。

(雲尾委員長)

そうですね。②のところだけ、「親しむことができるよう」ですかね。でいいですか。

(村田委員)

はい。

(金子生涯学習課長)

「親しむことができるよう開催する」

(村田委員)

「親しむことが出来ることを目指し」というのはどうですか。

(金子生涯学習課長)

「親しめるようにする」はどうですか。

(渡邊委員)

「親しめるよう」だと、今書いてあるものとちょっと変わってくる気がします。

(村田委員)

「だれでもわかりやすく遺跡に親しんでもらうため」ってどうですか。

(金子生涯学習課長)

上の言い方をそのままそうするとできますね。市民の、①だと市民に知ってもらうためってということになるから。②も「だれでもわかりやすく遺跡に親しんでもらうため」。

(雲尾委員長)

「開催する」にこだわらなければ、「当時の人々の暮らしを体験することで、だれでもわかりやすく遺跡に親しむことができるようにする」ということでもいいかなと思います。どうでしょう。ちょっと①、③と変わりますが。

(村田委員)

それでもいいですね。とにかく、遺跡出前体験講座という文字を省いてもいいのではないかということ。

(雲尾委員長)

省いた書き方でそうなるかなという形で。

(村田委員)

前のところで、ちょっと戻って1か所だけいいでしょうか。

(雲尾委員長)

はい、どうぞ。

(村田委員)

報告書の14ページのところで。

(雲尾委員長)

2- (1)、放課後子ども教室ですね。

(村田委員)

その一番下の、今後の方針のところの3行目ですけど、「また、未開設の地域においては、自治会や子ども育成団体等に相談や協議をし」ってなっています。ここちょっとおもしろいなと思いました。「に相談や協議をし」というよりも、「子ども育成団体と相談や協議をし」とか。

(雲尾委員長)

相談なので「に」がくるというけど、協議は「に」じゃないだろうということですね。「と」だったら相談でも「と」が使えますね。

(村田委員)

はい。「と」がいいのではないかなと思いますけど。

(雲尾委員長)

となるとシートのほうも、14ページの今後の方針のところもそうですね。自治会や子ども育成団体等と相談や協議をし」ということで、2- (1) お願いします。

その他

(雲尾委員長)

あと、全体を通しておっしゃりたいようなことがございましたら、あげていただければと思いますが。

(村田委員)

ありません。

(渡邊委員)

報告書のほうで、ちょっと私が何となく感じたのですが、遺跡だったり、出前講座だったり、神楽だったりっていう写真が、細かい写真が幾つも幾つもありますが、前半のほうはやっぱり大きい写真1枚で終わっていたりっていうのがあるので、可能な限りでいいですが、ちょっとわかる写真があったらなと思いました。1枚大きいのをぼんと1枚乗せるのではなく、2枚、個人が特定できないもので構わないのですが、2枚、3枚と、ちょっとスペースがある部分に関しては写真を複数載せていただけると、もっとわかりやすくなるかなとちょっと感じたのですが。お願いします。

(雲尾委員長)

個人が特定できない大きさが構わないというのも、個人が特定できないほうが望ましいので。余り大きいもので、これはだれそれだとわかるものよりは、例えば、この15ページの写真なんかはちょっと大きすぎますので、枚数を増やして小さくしていただくほうが、個人情報保護の観点からも安心できるかなと思いますので、渡邊委員のおっしゃるように写真はもう少し小さく数を増やしていただきたいということでお願いします。

そのほか、よろしいですか。

(大平教育総務課長)

本日いただいた意見につきまして、改めまして意見および対応等についてまとめさせていただくとともに、報告書案を修正させていただきたいと思います。それについてはできましたら明日郵送させていただきます。

今後の流れですが、26日に教育委員会定例会を開催する予定にしておりますので、できましたらそちらのほうに諮っていきたくと考えています。明日郵送させていただいたものにつきまして、大変時間のない中で恐縮でございますけれども、23日の金曜日をめぐり、それについて御意見等ありましたら事務局のほうに連絡いただけますようよろしくお願いをしたいと思います。

(雲尾委員長)

ということでございます。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

(3) 閉会

(池浦教育部長)

今日も大変暑い中、長時間に渡りまして、それも丁寧に御指導いただきまして大変ありがとうございます。毎回のことでございますが、この委員会を迎えるに当たって各委員さんからは御自宅のほうで深く読み込みをいただくなど、本当に御苦勞をおかけしているなという思いがしております。改めて感謝を申し上げたいなと思っております。

なお、御案内のとおり、最近の少子化の中で子どもたちへの関心、ひいては教育行政に関する一般市民の方々の関心は本当に高まっているというふうに思っています。

そういった意味で、こういった私ども教育行政の報告書を取りまとめ、市民に公表することは、今後もさらに貴重な機会になっていくなと思っています。これを申しあげまして最後とさせていただきます。本当にありがとうございました。

〔閉会〕午後 3 時 30 分